



ふれあい

2013年10月
現在の会員数
男性 1,315名
女性 509名
合計 1,824名

2013年/11月
139号

題字 府中市長 高野律雄 書

公益社団法人府中市シルバー人材センター発行/府中市寿町3-2 ふれあい会館2F/TEL042-366-2322



府中市シルバー人材センターフェア フォーリス1階「光と風の広場」



第53回府中市商工まつり

●目次

- 市長とセンター役員との懇談会 …… 2
- 第1回班長研修会開催 …… 2
- 府中市商工まつり …… 3
- 第15回安全推進大会開催 …… 3
- 新役員のプロフィール …… 4・5
- 四谷地域懇談会 …… 6
- 働く会員の職場訪問 植木職群班 …… 6
- 武蔵台文化センターの仲間たち …… 7
- 平成25年度主な行事予定 …… 7
- シルバー俳句 …… 7
- お知らせ …… 7

高野市長と センター役員との懇談会

8月21日(水)午後4時からふれあい会館6階第1会議室にて高野市長と芦川福祉保健部長をお招きして開催されました。

棟方会長のあいさつの後、高野市長のあいさつでは、今後の市政について8年間の中期的総合的かつ計画的な街づくりの指針の中、市民の協働・共助が求められ、シルバー人材センターの役目が大切になります。なかでも「ゆうゆう」や「お助け隊」など高齢化を支え、新しい街づくりとコミュニケーションを図ることの大切さを強調されました。

その後会長・各委員からの意見と要望がありました。

棟方会長からは市への今後の契約業務の拡大と引き続き補助金等の取扱いについての要望とセンターの優先機関として「アンテナショップ」的な施設の借用の配慮をお願いしました。

総務委員会からは、会員の増

強、資質向上のための研修や懇談会の場としての市施設の借用をお願いしました。

業務委員会からは、高齢者・障害者世帯を対象に短時間での家事支援をする「お助け隊」を展開しさらなる低料金で介護や育児など多くの市民が利用できるように支援を要望しました。

広報委員会からは、市広報にセ



ンター事業の催しなど月一回の掲載を要望しました。

地域委員会からは、地域活動で市やNPO団体などの協働として情報の提供をお願いしました。

安全委員会からは、会員の交通事故防止として引き続き高齢者の事故防止を市と連携して「自転車安全講習」の実施をお願いしました。

その後、芦川福祉保健部長から「第6次府中市総合計画」の構成について計画期間8年の基本構想と基本計画の詳しい説明がありました。

平成25年度 第1回班長研修会

7月11日(木)ふれあい会館にて地域班長、地域委員70余人が一堂に会して、本年度第1回班長研修会が開催されました。

班長は13名が交替し、地域委員も11名中6名が交替しました。

冒頭に田嶋地域委員長のあいさつ、棟方会長、小林副会長のあいさつ、その後11名の地域委員の紹介がありました。

その後、渋谷常務理事から「当センターの現状と課題」について話がありました。課題については

- ① 財務状況は一段と厳しくなりました。

- ② 就業の拡大と信頼される就業の重要性(お客様に喜ばれ、信頼されるシルバー人材センターが求められている)。

- ③ 法令の遵守と適正就業。

- ④ 地域社会への奉仕活動の推進。

- ⑤ 安全就業と健康管理について。

等説明あり。全会員必須の内容でした。

続いて常務理事から「地域班長の役割と地域活動」について説明がありました。その要旨は

- ① センターを近隣地域に広め、入会を勧める。

- ② 就業開拓のための情報収集・提供を行う。

- ③ 会員相互間の交流・情報交換。

- ④ センターと会員間のコミュニケーションの強化。

- ⑤ 地域懇談会の開催等地域の情報収集と事務局への提供。

- ⑥ 月次連絡等センターからの情報提供と連絡体制の整備。

終了後各地域に分かれ、今後の地域活動について話し合いが行なわれ、新年度を迎えて地区ごとに

これからの計画について、熱心に討議されていきました。今後が期待されます。



第53回 府中市商工まつり

第53回府中市商工まつりが、むさし府中商工会議所の主催で、8月9日から11日まで開催されました。

当センターも大鳥居の近くのテントで例年通り参加しました。

9日は、10時から当センターのテントのすぐ前で、開会式のセレモニーがあり、市長をはじめ来賓の方々のテープカットが始まり、む



さし府中商工会議所会頭のあいさつなどでセレモニーが終わり、いよいよ商工まつりの始まりです。

当センターではセンターの紹介や入会相談、うちわやパンフレットの配布、スーパーボールすくいをしました。猛暑の中、金曜日のウィークデーにも係わらず、多くのお客様で賑わい、スーパーボールすくいも盛況でした。大小様々のスーパーボールを小学校高学年の子は要領よくすくいあげていました。1個もすくいあげられない子供も何人かいましたが、3個は持ち帰りできましたので、みな満足していました。

会員は地域、総務、広報、安全、業務委員会から1日の午前担当、

午後担当の各組が構成され、各組5名が当番に当たりました。10・11日は隣のテントで小物班が販売を行いました。猛暑の中商工まつりに当番で参加された役員と委員のご苦労がうかがわれました。

第15回安全推進大会開催

7月19日(金)にふれあい会館で開催されました。参加者は58名で女性も8名、ほぼ満席の盛況でした。定刻の午後2時に司会の西田安

全委員会副委員長のあいさつで開会し、その後澤村安全委員長、棟方会長のあいさつがありました。今回のテーマは「自転車の交通安全について」です。

府中市警察署交通課交通指導員の関屋明弘氏からビデオを併用しながら、約1時間の講演をして頂きました。内容は、自転車運転のルールや、マナーや危険な行為などでした。

東京都は自転車事故が多く、65才以上の高齢者事故が増えていることや、府中市での交通事故の半

分が自転車に絡む事故であることなども、具体的な数値を引用しながら説明をして頂きました。

忘れてはならないポイントは「自転車は車の仲間」ということで、特に次の2点が注意点です。

- 自転車事故を起こさない、次に事故に遭わない。
- 運転中は注意を怠らず、スピードを抑えて走る。

質疑応答の時間でも活発に質問がなされ、指導員から丁寧な応答を頂きました。

最後に、事務局から「自転車損害責任保険」の説明と、未加入者への加入奨励があり、大会を終えました。



新役員のプロフィール



副会長 小林敏彦

インタビューによる自己紹介は、4年前「ふれあい122号」にありますので、サラリーマン時代のアジア南方勤務について記します。

所はジャカルタ、時は坂本九さんが日本航空123便墜落事故で亡くなった年、妻と次女は現地に、長女は東京にと二重生活の2年間でした。社宅に於いてはボーイとメイドを雇わない外国人は泥棒に狙われるとか、家族数に応じた車がないと危険で買い物や通学が難しいとか、ヒンズー教、イスラム教、キリスト教の習慣を理解しないと現地人を使いこなせないとか。

一方仕事上では、マレー語も英語もほどほどに話せないと商談が成立しないとか、突然の2年間で5年以上にも感じられました。この間番犬が毒殺されたり、日本人学校が爆破されたり、備品が盗難にあったりしたもの、無事に帰国し、多くの友人を得て、思い出の多くまた変化に富んだ体験でした。

シルバーライフも13年過ぎ厳しいこともありますが、将来きつと楽しい思い出に残ると確信いたします。



宮澤 洋 理事

昭和24年新宿区で生まれ、調布市で育ち、結婚を機に住み始めた府中市もすでに40年となりました。

平成21年地方公務員(市役所職員)として定年を迎えました。私は、現場でモノづくりを行う技術職でしたので、平成初頭の高度経済成長期(バブル絶頂期)には、市営バスの位置情報システム開発、免震構造による市立病院建設、清掃工場の余熱利用の病院冷暖房システムの導入等、公共施設では初めてとなる、これらの施設の建設に関わったことは今でも懐かしい思い出です。

当センターには、平成24年に入会後、現在は、紅葉丘文化センターで就業しています。今後も理事として頑張つてまいります。(総務委員担当)



山口弘美 理事

阿波踊りで有名な高円寺で生まれ育ちました。かなり、お転婆な少女時代を、過ごしました。

某都市銀行の丸の内本店で14年ほど勤務して家庭に入りました。しばらく子育てに専念しましたが子供たちの手が離れてからは、府中市内の図書館で60歳まで働きました。センター入会後は住吉文化センターを経て今は、西府文化センターの業務

員をしています。

趣味は、モダンダンス、ジャズダンスで昔からの仲間たちと群舞を楽しんでいます。ほかに、読書は子供の頃から「本の虫」と言われるくらい好きですし、海外旅行は夫と年一回は、行っています。又、センターのウォーキングのグループでは、気がおけない人達と東京中を歩き回っています。

今回で、理事は、二度目になります。総務委員を担当して今までの経験を生かして頑張りますので、宜しくお願いいたします。



近藤 敦 理事

昭和21年熊本市生まれ、高校まで「肥後黙鼓子」として上通町筋で育ちました。上京後14ヶ所の転居を経て平成20年に新町に居を構え、現在は夫婦二人暮らしです。

情報処理企業に入社後は、小型電子計算機↓オフコン↓サーバー時代を26年間営業としてコンピュータ販売現場で楽しみ、本社では経営企画等を担当。その後子会社では生損保業務に従事しました。

平成21年にセンターへ登録して新町文化センターに就業、一方業務委員协会会员として「お助け隊」の設立運営に携わり、現在は急きよ業務委員長を拝命し、重責を痛感しています。

激変するシルバー環境に対して「情熱・使命感・行動第一」として「邁進する覚悟です」。

倉地真弓 理事

福岡から府中に移り住んで約30年。今ではすっかり府中の人になりました。主人共々登山が趣味で、若い頃は、よく北アルプスをテクテクと二人で歩いたものですが、今は、近辺散歩になりました。

平成19年6月にセンターに入会しました。

新たな職場での知識や会員の方々との出会いを通じて、楽しみも増え一段と充実した日々を送っております。

一人でも多くの方々シルバー人材センターの存在と意義を知って頂けたら、との思いで日々活動しております。(業務委員担当)



徳田豊彦 理事

昭和20年に名古屋市中生まれ、高校の美術科を卒業後デパートの宣伝部に所属し主に店内装飾のディスプレイや販売促進用ダイレクトメールなどのデザインを担当していました。

49年単身上京して広告プロダクションさらに広告代理店で新聞や雑誌広告のデザイン制作を経験しました。後にフリーのデザイン工房を設立して一度名古屋に拠点を移し平成19年に再度府中市に戻りました。翌年にセンターに入会してパソコンの経験を活かして現在はセンターのPC職群でパソコン教室の講師を続けております。

平成23年4月から広報編集委員として「ふれあい」の編集や現在のセン

ターのホームページのデザインの制作を継続しております。広報委員としてセンターの広報活動に努力して参ります。



田嶋 淳 理事

センターでの仕事は、パソコン職群と刃物研ぎ班の2つに所属しています。

地域委員長を拝命して、センターの中で、最も重要なのは地域委員会だと思っています。

その中で、各地域の班長さんが、一番ご苦労されていると思います。班長さん無くしてシルバー人材センターは成り立って行きません。

各班長さんが自分の地域の会員動向をしつかり掴み、会話すること、その地域の活性化、発展につながると思います。また各会員の皆様方のご協力なくして班長は務まりません。班長さんを盛り立ててください。

これかもどうぞよろしくご支援をお願い申し上げます。



智田悦子 理事

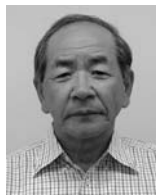
出身は南国情緒豊かな宮崎県です。当時は日本のハワイと称され、多くの新婚旅行の方々を御案内しました。結婚後は、転勤族の夫と東京を起点に東北から九州まで9回引越しをしました。様々な地域で文化の違いや、多くの人との交流を経験し、また大変な事もありました

が、その当手を今振り返ってみますと得難い貴重な財産になっております。

趣味は料理、手芸です。パン、ケーキ作りやテディベア、ネクタイ作り、パッチワーク、刺繍などですが、つい時間忘れて没頭してしまうこともあります。

平成十二年から府中市民になりました。住まううちに地域活動に興味を湧き、センターに入会致しました。入会後は片町文化センターで就業しています。

今後女性目線で地域の活性化に貢献できるように努めます。(地域委員担当)



松本基男 理事

群馬県高崎市の生まれです。上毛三山(赤城、榛名、妙技)に囲まれ、端正な姿の白衣大観音のお膝元で育ちました。今夏の甲子園では前橋育英高校が初出場、初優勝という野球史に残る快挙でした。私自身は、幼い頃から海外に憧れておりました。東芝に入社後は主に開発設計の仕事に従事し、海外(特に豪州、米国、中国、韓国、ブラジル等)の顧客との技術打合せ、技術援助、現地指導にと奔走しました。現役時代のこの貴重な経験が今の私の母体となっています。

退職後は色々なキャリアの方々との交流をと考えて平成17年にセンター入会し、地域班長3期、現在は府中グリーンプラザで就業しています。趣味は将棋(2段)、テニス、パソコン等です。微力ながらセンターの発

展に尽くして参りますので、ご支援のほど宜しくお願い致します。(地域委員担当)



澤村一男 理事

台東区元浅草で生まれ、日光に疎開し、杉並、世田谷で育ち、全くの田舎知らずで、社会人になりました。

現役時は営業全般を担当し日本全国を飛び回り北海道から九州・沖縄迄、訪問しない県は皆無でした。

転勤の連続で転居は10回を数え、府中市に移り住み、早や20年です。

センターへの入会は平成14年秋、最初の就業は墓地の勧誘で、1日約180家庭を電話帳片手に順番に電話を掛け、15日間貴重な楽しい体験をしました。

現在は、体育館で就業しています。就業仲間とは和気あいあいと連携のとれた人間関係を大切に、一方、利用者が気持ちよくスポーツを楽しめるよう、笑顔とコミュニケーションを大切に頑張っています。

センターでは安全委員会に属し、会員の健康、就業中・就業途上の安全等、毎月20日前後に実施する安全。パトロールで啓蒙活動を展開しています。



市川泰三 監事

私は会員になって10年になります。が、市役所の駐車場管理、病院の案内業務、文化センターの業務員など

の現場の仕事をして来ました。監事の職務は「理事の職務の執行を監査して、法令の定めるところにより、監査報告を作成する」(定款)ということになっています。

当センターは設立以来、その趣旨に沿って立派に仕事をして来ています。最近特に市民の評判も良くなって来ていますが、これは理事、会員の日頃の努力によるものと嬉しく思っています。

公益法人として、様々な課題もありますが、地域社会に貢献できるように、会員の皆様と一緒に頑張ります。



和田道夫 監事

私の故郷は、千葉県の我孫子です。東に利根川が流れ、我孫子駅から6分ぐらゐの場所で私は生まれました。

自然豊かな所です。約30年暮らしてから府中に移り住んで40年になります。

府中市分梅町では皆様と一緒にコミニケーションを取ながら頑張っています。

センターには約15年になります。が、理事を2年程担当して、今年平成25年7月に監事に就任しました。シルバー人材センターをより以上に活発にして皆様方がセンターを自分の故郷であるように一層協力していただける様に皆様方のさらなる力を結集するため、裏方として立派に監事の仕事をやっていきたいです。よろしくお願い致します。

四谷地域懇談会開催

好天に恵まれたお彼岸3連休の中日の9月22日(日)、四谷地域懇談会が34名の出席者で四谷文化センターで佐藤班長の司会により開催されました。

渋谷常務理事よりセンターの現状と「就業の拡大と信頼される就業」など4項目の主な課題と「在会年数別会員研修」など今後の主な行事予定についての報告がありました。

次いで松本西部地域担当理事より東部・中部・西部の3地域分担の担当理事制度についての説明と地域に密着した活動の重要性等について説明と要望がありました。

引続いて四谷地域のボランティア活動と地域懇談会の今後の予定と方針についての報告と新入会者の紹介及び丸山前理事と高島前地域委員の退任と小泉班長のセンター退会による津田新班長の就任について林崎地域委員より報告を行いました。

質疑応答では、出席者全員から現在の就業状況や健康状態などの報告の他センターへの質問や提

言、苦情など活発な発言が有り、渋谷常務理事の応答を交えて予定時間を超えて有意義な意見交換が行われました。

この後、府中消防署員2名の方の指導により、一次救命処置とAEDの使い方について講習と実演体験を実施しました。

今回の懇談会はお彼岸3連休の中日で行楽やお墓参りなどの予定と重なるやや厳しい日程で設定した事により出席者の減少が懸念されましたが、四谷地域会員の皆様のご理解とご協力によりほぼいつも通りの人数のご出席をいただき、担当理事のご支援のお陰で有意義に且つ友好的に開催出来た事を感謝いたしております。



「働く会員の職場訪問」 植木職群班

植木班は現在、42名が13班に分かれて活躍しています。年齢は64歳〜78歳で、元植木職人だった方、サラリーマンやお店をやっていた経験が無く、センターでの講習を受けて職に就く方と経歴は様々です。「好きでなければ、また健康でなければ続かない」とのお話が今年の猛暑を振り返り印象的でした。

常に危険を伴う作業なので、安全を願って都内のセンターでは初めての試みである数十ページの写真入り小冊子「剪定作業安全マニュアル」を、安全就業の専門家に相談依頼して作成しました。

取材待合せは意外にも個人のお墓です。お墓を囲んで様々な樹木が植えられ、剪定依頼も納得です。責任者を親方との呼称にも、仕事柄の粋を感じます。小林親方班の3人の方々の仕事のご苦労や喜びのお話を伺いました。仕事を選んだ理由は、以前シルバー人材センターに自宅の剪定を頼んで、「私にもできそうだと思う」と小林さん。「樹木が大好き」と、森林インストラクターでもある風間さ

ん。現役時は内勤だったので外での仕事があった」と瀬谷さん。理由は様々です。作業中に脚立で足を滑らす、蜂に刺される、躓いて眼鏡を割る等、皆さん危険な体験もしています。

仕事の喜びは、樹木の先々の成長まで予想し、美的感覚で刈り上げ、お客様に喜ばれた時が自分の達成感に繋がります、何より嬉しい事です。

次の現場のお得意様の庭で、今年も珊瑚樹の木に見事な赤い実をつけた様子を見ながら家主と作業班が笑顔で話している姿は、樹木を愛する植木班の心が伝わる光景でした。



「武蔵台文化センター」の 仲間たち

私達は、武蔵台文化センター業務員として勤務しております。

業務員間のコミュニケーションは、業務上の大事な潤滑油です。そうした中、業務員から「お花見でもしましょうか」との提案で、センター休館日を利用して早速お花見会開催となりました。

生憎、国分寺跡地は今年の早い桜開花でソメイヨシノは散つていましたが、山桜と八重桜は満開。数日続いた荒天が、当日は皆の気持ちがあつた様子が清々しく晴れ上がった青空です。近くの小学校で入学式があり、宴席の脇を通るピカピカの一年生を眺め、各自が子供の頃を思い出していました。業務員の容姿は燦し銀のビカビカシルバールドです。

花見弁当を囲み、酒を酌み交して気分良く酔う人。国分寺の花祭り甘茶を頂く人。お鷹の道を散策する人。それぞれに楽しみながら、帰り道に仲間の方が近くで耕す本格的家庭菜園で野菜を頂戴し、業務員同士が友好を深めた有

意義で楽しい一日となりました。

三年の勤務間で約十数名の業務員の方々と関わります。何よりコミュニケーションと団結が大事です。市職員と連係で更に市民の役に立てる様頑張っております。



平成25年度主な行事予定

実施月 行事名

- 11月 職業能力開発センター
技能祭(3日)
- 自転車教室(13日)
- 府中NPOボランティアまつり(16日)
- 1月 役員班長合同懇談会(17日)
- 第2回安全推進大会(24日)
- 2月 第3回ふれあい作品展(28日)
- 3月3日)

ふれあい作品展 作品募集します

受付期間：平成26年1月14日～24日

種別：洋画、日本画、書、写真、工芸等

募集点数：100点(一人1点・先着順)

出展料は無料です。

対象：60歳以上の市民

申込み：センター窓口にある出展申込書

に必要事項を記入の上提出

《開催日時》平成26年2月28日から3月3日

《開催場所》府中グリーンプラザ5階展示ホール

臨時職員採用・退職

10月1日付で会員活用の一環として、事務局の臨時職員に採用されました。
よろしくお願ひいたします。



宮本 礼子さん

9月30日付で、臨時職員の大山八重子さんが退職されました。
長い間ありがとうございました。

■ シルバー俳句・川柳

夏日差し 地面に縮む 影映す
マチヤリの 前後に子供 夏帽子
賢治の忌 想い果てなし 星のぐり

安倍 将

やどどき おもわず涙 次女の子や
次女の子は ららおや似だが まあいか

芝辻 克己

インク代 高すぎるよ 純正品
ロスハム 大事に保存 期限切れ
若い君 先に行くのに 無挨拶

青柳奎吾

(会員からの川柳・俳句と募集しています)

編集後記

6月の総会で役員交代があり、新役員の自己紹介と、恒例の高野府中市長との懇談会を掲載しました。本号は三坂前広報委員長の退任に伴い、新広報メンバーで企画・取材・編集を進めていきましたところ9月25日突然の三坂様ご逝去の報にふれ委員一同動転しております。三坂様には平成24年から「ふれあい」編集に当たり、種々細部までご指導を頂き、お世話になりました。心からご冥福をお祈り申し上げます。
(広報委員会 徳田)



高野府中市長とセンター役員懇談会



高野府中市長とセンター役員懇談会



府中商工まつり宣伝活動



府中商工まつりの婦人会員小物班



安全推進大会



四谷地域懇談会



府中市シルバー人材センターフェア



府中市シルバー人材センターフェア